



夏号

令和3年7月発行

# 南花台公民館だより



7月に入りました。公民館では、「夏休み子ども教室」やその他の主催事業を計画していますので、新型コロナウイルス感染防止はもちろん、熱中症対策や十分な睡眠など健康に気を付けてもらいながらのご参加をお待ちしています。

6月初めに、綿の苗(写真)を植えました。江戸時代、木綿は衣類の中心で、のら着や足袋、手ぬぐいなど庶民に広く用いられていました。市域で織られていたと思われる長野木綿は質が良いと評判でした。8月には黄色の花を付け秋には綿を収穫できます。苗はふるさと歴史学習館からいただきました。

## 南花台公民館主催講座のご案内

詳しくは広報7月号・8月号・9月号をご覧ください。

### 1 夏休み子ども型染友禅教室(広報7月号) Tシャツに花、魚などの模様を型染しよう!

7月27日(火)、10:00~12:00 対象 小学生10人(1・2年生は保護者同伴)



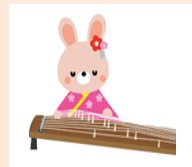
### 2 夏休み子どもプログラミング教室(広報7月号) ロボットカーを走らせよう!

7月29日(木)、14:00~16:00 対象 小学4年生~6年生20人



### 3 夏休み子ども箏体験教室(広報7月号) 日本古来の箏を体験しよう!

8月3日(火)、10:00~12:00 対象 小学生10人(1・2年生は保護者同伴)



#### ■申し込み方法■

1・2・3とも往復ハガキまたはメールで、住所・氏名(フリガナ)・電話番号・学年・教室名を明記の上、7月13日(火)(当日消印有効)までに南花台公民館(〒586-0077 南花台8-4-1、Eメール:kouminkan@city.kawachinagano.lg.jp)へ申し込みを。応募多数の場合は抽選します。

#### ●認知症サポーター養成講座(広報8月号)

日時 8月26日(木)13:30~15:00  
講師 認知症キャラバンメイトの野村秀一氏  
テーマ 「認知症と高齢者介護の基本」

#### ●歴史講座(広報9月号)

日時 9月17日(金)13:30~15:30  
講師 市文化財保護課 太田宏明氏  
テーマ 「戦国武将と天野山金剛寺」

#### ●消費生活講座(広報8月号)

日時 8月27日(金)14:00~15:00  
講師 市消費生活センター相談員の鈴木久美恵氏・中村英子氏  
テーマ 「あなたをねらう特殊サギ うまい話にはワケがある」



南花台公民館 〒586-0077 河内長野市南花台8-4-1

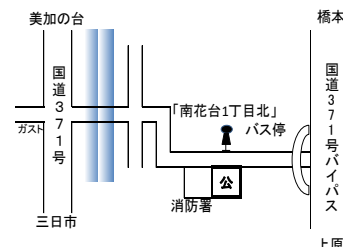
電話 0721-63-1131 FAX 0721-63-1194

開館 火曜日~日曜日 午前9時から午後5時まで

≪月曜日は休館≫

図書室の貸出時間は午前10時~午後5時までです。

『広報かわちながの』や南花台公民館ホームページもご覧ください。



**子ども和太鼓教室始まり  
ました (R4・3まで)  
日本伝統文化に小学生9  
人が挑戦 6・27(日)**  
■指導 和太鼓サークル  
わかこま・松浦謙信氏



**普通救命講習を開催しま  
した  
心肺蘇生法とAED使用  
手順を学習 6・27(日)**  
■指導 市消防署救急  
隊員



**図書室からご案内 第67回青少年読書感想文全国コンクール (小学校課題図書)**

**小学1・2年生**

- 「あなふさぎのジグモンタ」(とみながまい/さく) 写真左上
- 「そのときがくるくる」(すずきみえ/さく)
- 「みずをくむプリンセス」(スーザン・ヴァーデ/ぶん)
- 「どこからきたの?おべんとう」(鈴木まもる/さく)

**小学3・4年生**

- 「わたしたちのカメムシずかん」(鈴木海花/文) 写真右中
- 「ゆりの木荘の子どもたち」(富安陽子/作)
- 「ぼくのあいぼうはカモノハシ」(ミヒヤエル・エングラール/作)
- 「カラスのいいぶん」(嶋田泰子/著)

**小学5・6年生**

- 「エカシの森と子馬のポンコ」(加藤多一/作) 写真左下
- 「サンドイッチクラブ」(長江優子/作)
- 「おいで、アラスカ!」(アンナ・ウォルツ/作)
- 「オランウータンに会いたい」(久世濃子/著)



※中学生・高校生用もあります。図書室に問い合わせてください。課題図書貸出は、小学生用、中学生用、高校生用それぞれ利用者カード1枚につき1冊です。延長はできません。できるだけ早く(1週間程度)返却してください。

■利用日 火曜日～日曜日(月曜日休館) ■利用時間 10:00～17:00

**知ったはりまっか日本遺産 ②高野街道**

2回目は、「中世に出逢えるまち～千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫～」のストーリーを構成している高野街道を紹介します。

816年、弘法大師によって高野山が開山されました。平安時代以降、高野山参拝の道としてにぎわったのが高野街道です。京都、大阪、堺を起点にした複数の道が最終的に現在の河内長野駅前一本になり和歌山県との境にある紀見峠に向かいます。

京都から高野山へ向かう道としては主に3つのルートがあります。京都(石清水八幡宮)から生駒山脈西側山ろく沿いを南下し大和川を渡り河内国府、富田林を経て長野村で西高野街道と合流する「東高野街道」、大阪の平野から南下し狭山を通り津の辻(現在の楠町)で西高野街道と合流する「中高野街道」、淀川を船で下り大阪に上陸し四天王寺、住吉大社を参拝したあと堺に出て和泉国に南に進み「中高野街道」に合流する「西高野街道」です。

鎌倉時代になると、幕府・武士や庶民の信仰が盛んとなり高野山に墓所をつくり納骨する人も多くなりました。町石が建立されたのもこの頃です。また、三日市、上田に宿場も設置され人、物の往来がにぎやかになりました。市内には、高野山女人堂までの里程標があり、「九里(古野)」、「八里(三日市町)」、「七里(天見)」の3か所です。

ふるさと歴史学習館には、高野街道に関わる出土遺物などの資料を展示しています。



高野街道酒蔵通り



与津の辻(西・中高野街道合流地点)



**子育てわいわいルーム**  
毎月第4水曜  
午前10:30～11:30

**廃油回収のご案内 7月・8月・9月**

7月15日(木)・8月19日(木)・9月16日(木)  
玄関前 午前10:00～11:30

